

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 日産横浜自動車大学校
設置者名	日産自動車株式会社

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	自動車整備科	夜・通信	178.2	160	
	一級自動車工学科	夜・通信	334.8	320	
	モータースポーツ科	夜・通信	180	80	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.nissan-gakuen.ac.jp/yokohama/infomation.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	専門学校 日産横浜自動車大学校
設置者名	日産自動車株式会社

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	教育課程編成委員会
役割	<p>日産横浜自動車大学校が、実践的かつ専門的な職業教育を実施するにあたり、企業等と連携し、必要となる実務に関する知識、技術、技能などを十分に把握、分析した上で、授業科目の開設又は授業内容・方法の改善工夫等、教育課程の編成に活かすことを目的に設置し次に掲げる観点から教育課程の編成に係る提案を行う。</p> <p>(1) 就職先の業界における人材の専門性に関する動向。 (2) 国又は地域の産業振興の方向性。 (3) 新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識、技術、技能 (4) その他、教育課程の編成に関する事項。</p>

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
一般社団法人 役員	2022. 4. 1～ 2023. 3. 31	業界団体代表（整備振興会）
一般社団法人 職制	2022. 4. 1～ 2023. 3. 31	業界団体代表（整備振興会）
株式会社 職制	2022. 4. 1～ 2023. 3. 31	業界団体代表（自動車販売会社）
株式会社 職制	2022. 4. 1～ 2023. 3. 31	業界団体代表（自動車販売会社）
学校法人 職制	2022. 4. 1～ 2023. 3. 31	学校法人 日産学園代表 （日産5校の統括部署）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 日産横浜自動車大学校
設置者名	日産自動車株式会社

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画作成ガイドライン (https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/yokohama/wp-content/uploads/2020/06/fa128f979d5604ce8f1fe4328bba3e79.pdf)に基づき、専門科目全てのシラバスを作成し、年度初め迄に学校ホームページ及び学生端末※2に掲載し、学生及び外部に公開している。</p> <p>※2 学生所有のスマートフォン等のアプリ「ClassRoom」</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.nissan-gakuen.ac.jp/yokohama/curriculum.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

- ・規定出席率を充足したうえで、試験(筆記・実習)に合格することで履修を認定する。成績については、試験の点数により優・良・可の3段階で判定する。

学習評価について

<一級自動車工学科>

- ・学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められない。 可否の判定は下記「判定基準」により行う。

<期末試験>

- ・教科の学習効果を判断するために、教科毎に実施する。 実習については授業内容の進捗により、教科の途中で試験を実施する場合もある。

<判定基準>

- 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とする。
- 2) 学科、実習共に成績得点が70点以上を合格とする。
 - ※ 国家2級資格取得のための特定の教科においては、80点以上を合格とする。
- 3) 成績得点を基に評定(優・良・可)、成績順位を決める。
 - ※ 優: 80点以上 良: 70点以上 可: 70点未満
 - ※ 評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められる。

<自動車整備科>

- ・学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められない。 可否の判定は下記「判定基準」により行う。

<期末試験>

- ・教科の学習効果を判断するために、教科毎に実施する。 実習については授業内容の進捗により、教科の途中で試験を実施する場合もある。

<判定基準>

- 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とする。
- 2) 学科、実習共に成績得点が60点以上を合格とする。
 - ※ 国家2級資格取得のための特定の教科においては、80点以上を合格とする。
- 3) 成績得点を基に評定(優・良・可)、成績順位を決める。
 - ※ 優: 80点以上 良: 60点以上 可: 60点未満
 - ※ 評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められる。

<モータースポーツ科>

- ・学習評価は教科ごとに試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。 可否の判定は下記「判定基準」により行います。

<平常試験>

- ・平常の学習効果を判断するため、随時実施されます。

<期末試験>

- ・教科の学習効果を判断するために、教科毎に行われます。
- ・教科により、レポートで学習効果を判断することがあります。

<判定基準>

- ・期末試験得点が60点以上を合格とします。

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各科目の期末試験の結果を合計し、その平均点で成績順位を付け分布を把握し学生の指導に役立てる。 	
<p><一級自動車工学科></p> <p>前期および後期の期末試験の平均点を100点換算で順位付けを行い、得点分布を把握する</p>	
<p><自動車整備科></p> <p>半期ごとの期末試験の平均点を100点換算で順位付けを行い、得点分布を把握する</p>	
<p><モータースポーツ科></p> <p>半期ごとの期末試験の平均点を100点換算で順位付けを行い、得点分布を把握する</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.nissan-gakuen.ac.jp/yokohama/infomation.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業認定方針（ディプロマポリシー）に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。

<ディプロマポリシー（共通）>

日産・自動車大学校では、本学の学生が以下に示す能力を取得することを、学校全体の称号授与に関する方針（ディプロマポリシー）として定め、各学科ではそれを具体的に規定する。

- ① 学校で学んだ知識、技能及び高い人間性（自主性、主体性）を備えていること
- ② 社会人としての倫理観と責任感を備え、広く自動車業界に貢献できる熱意を備えていること。
- ③ 周囲とのコミュニケーションを欠かさず、共感力による思いやりを持った行動ができる。

<一級自動車工学科>

1種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に文部科学大臣告示による高度専門士（工業専門課程）を授与する。

1. 資格

- ① 国家一級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、自動車エンジニアとして高度で総合的な知見を有している。

2. 技術

- ① 日産2級整備士資格の学科試験に合格できる知識を有している
- ② 日産資格制度の日産2級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CSマインドを身に付け、一連のお客様対応スキルにより、お客様満足を優先する対応ができる。
- ③ 企業経営に関する知識を身に付け、業務効率の重要性を理解している。

3. 人間力

- ① 主体性を基に自ら学ぶ意欲及び探究心を持って学習し、自ら目標を掲げて行動できる。
- ② 組織の中で自分の役割を理解し、主体的に課題を解決する行動力を身に付けている。
- ③ 相手の気持ちや考えを理解するコミュニケーション力を持ち、チーム全体をリードしていく意思を有している。
- ④ 積極的に社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる。

<自動車整備科>

1種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に文部科学大臣告示による専門士（工業専門課程）を授与する。

1. 資格

- ① 国家二級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、整備士として基本的な自動車整備作業ができる。

2. 技術

- ① 日産3級整備士資格を取得できる知識と技術を有している。
- ② 日産資格制度の日産3級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CSマインドを身に付け、一連のお客様対応スキルを身に付けている。

3. 人間力

- ① 自主性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に取り組む姿勢を身に付けている。
- ② チームの一員として共同作業のベースとなるコミュニケーション力を有している。
- ③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる。

<モータースポーツ科>

モータースポーツ科では、以下に記す知識と能力を培った者に卒業証書を授与する。

1. 資格・技術

- ①国内A級ライセンス、カートライセンス、各種サーキットライセンスを取得し、サーキットを安全に走行できるスキルを身に着けている。
- ②サーキットを安全に走行できる技術と車両整備知識を身に付け、また調整や交換の変化を体感しお客さまへの高度な整備提案やアドバイスが出来る。

2. 人間力

- ①整備作業においてタスクマネジメントが出来、主体性を基に自ら目標を掲げて行動できる。
- ②関わる全ての人に対し、挨拶、感謝の気持ち、謙虚さを兼ね備え実行できている。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.nissan-gakuen.ac.jp/yokohama/infomation.html>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 日産横浜自動車大学校
設置者名	日産自動車株式会社

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	閲覧希望者につきましては、事前にご連絡頂き、日産横浜自動車大学校の職員室で公開しています。 代表電話番号 045-371-2990
収支計算書又は損益計算書	閲覧希望者につきましては、事前にご連絡頂き、日産横浜自動車大学校の職員室で公開しています。 代表電話番号 045-371-2990
財産目録	
事業報告書	閲覧希望者につきましては、事前にご連絡頂き、日産横浜自動車大学校の職員室で公開しています。 代表電話番号 045-371-2990
監事による監査報告（書）	閲覧希望者につきましては、事前にご連絡頂き、日産横浜自動車大学校の職員室で公開しています。 代表電話番号 045-371-2990

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	一級自動車工学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年		3877.2時間 単位時間/単位	1249.2 単位時間 /単位	単位時間 /単位	2628.0 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320人		208人	3人	16人	0人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）授業計画作成ガイドライン https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/yokohama/wp-content/uploads/2020/06/fa128f979d5604ce8f1fe4328bba3e79.pdf に基づき、専門科目全てのシラバスを作成し、年度初め迄に学校ホームページ及び学生端末※2に掲載し、学生及び外部に公開している。 ※2 学生所有のスマートフォン等のアプリ「ClassRoom」
成績評価の基準・方法 （概要） ・規定出席率を充足したうえで、試験（筆記・実習）に合格することで履修を認定する。 成績については、試験の点数により優・良・可の3段階で判定する。

<p>学習評価について</p> <p><一級自動車工学科></p> <p>学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められない。 可否の判定は下記「判定基準」により行う。</p> <p>〈期末試験〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科の学習効果を判断するために、教科毎に実施する。 実習については授業内容の進捗により、教科の途中で試験を実施する場合もある。 <p>〈判定基準〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とする。 2) 学科、実習共に成績得点が70点以上を合格とする。 ※国家2級資格取得のための特定の教科においては、80点以上を合格とする。 3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位を決める。 ※優：80点以上 良：70点以上 可：70点未満 <p>※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められる。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <p>期末試験（追試験）再試験、判定試験の成績、出欠状況ならびに、素行状況を総合して行う。ただし未履修（不合格）教科がないことを条件とする。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <p>本人との面談、保護者への連絡、場合によっては家庭訪問等で面談を行い、改善指導を行う。また、学生の動向に関する情報は共有し、注視している。定期的に診療心理士のカウンセリングを実施。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
45人 (100%)	0人 (0%)	45人 (100%)	人 (0%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日産販売会社を中心とした自動車業界 			
<p>(就職指導内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職観情勢授業・面接練習・卒業生とのディスカッションほか 			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一級小型自動車整備士資格 受験者45人 合格者45人 合格率 100% 			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
208人	4人	1.9%

(中途退学の主な理由) 学業不振、経済的理由、進路変更
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な個別面談

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	自動車整備科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2001.6時間 単位時間/単位	765.0 単位時間 /単位		1236.6 単位時間 /単位		
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
240人	175人	46人	16人	0人	16人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>・授業計画作成ガイドライン（https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/yokohama/wp-content/uploads/2020/06/fa128f979d5604ce8f1fe4328bba3e79.pdf）に基づき、専門科目全てのシラバスを作成し、年度初め迄に学校ホームページ及び学生端末※2に掲載し、学生及び外部に公開している。</p> <p>※2 学生所有のスマートフォン等のアプリ「ClassRoom」</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>規定出席率を充足したうえで、試験（筆記・実習）に合格することで履修を認定する。成績については、試験の点数により優・良・可の3段階で判定する。</p> <p><u>学習評価について</u></p> <p><自動車整備科></p> <p>学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められない。合否の判定は下記「判定基準」により行う。</p> <p>〈期末試験〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科の学習効果を判断するために、教科毎に実施する。 実習については授業内容の進捗により、教科の途中で試験を実施する場合もある。 <p>〈判定基準〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とする。 2) 学科、実習共に成績得点が60点以上を合格とする。 ※国家2級資格取得のための特定の教科においては、80点以上を合格とする。 3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位を決める。 ※優：80点以上 良：60点以上 可：60点未満 <p>※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められる。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>期末試験（追試験）再試験、判定試験の成績、出欠状況ならびに、素行状況を総合して行う。ただし未履修（不合格）教科がないことを条件とする。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>本人との面談、保護者への連絡、場合によっては家庭訪問等で面談を行い、改善指導を行う。また、学生の動向に関する情報は共有し、注視している。定期的に診療心理士のカウンセリングを実施</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
75人 (100%)	3人 (4%)	71人 (94.7%)	1人 (1.3%)
(主な就職、業界等) ・日産販売会社を中心とした自動車業界			
(就職指導内容) ・就職観情勢授業・面接練習・卒業生とのディスカッションほか			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・二級ガソリン自動車整備士資格 受験者75人 合格者75人 合格率 100% ・二級ジーゼル自動車整備士資格 受験者75人 合格者75人 合格率 100%			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
175人	11人	6.3%
(中途退学の主な理由) ・学業不振・進路変更・怪我		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・定期的な個別面談		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	モータースポーツ科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1022.4時間 単位時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	1022.4 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		3人	0人	1人	0人	1人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 授業計画作成ガイドライン (https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/yokohama/wp-content/uploads/2020/06/fa128f979d5604ce8f1fe4328bba3e79.pdf))に基づき、専門科目全てのシラバスを作成し、年度初め迄に学校ホームページ及び学生端末※2に掲載し、学生及び外部に公開している。 ※2 学生所有のスマートフォン等のアプリ「ClassRoom」
成績評価の基準・方法

<p>(概要)</p> <p><モータースポーツ科></p> <p>〈平常試験〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平常の学習効果を判断するため、随時実施する。 <p>〈期末試験〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科の学習効果を判断するために、教科毎に実施。 ・教科により、レポートで学習効果を判断することがある。 <p>〈判定基準〉</p> <p>期末試験得点が 60 点以上を合格とする。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>卒業判定は下記の基準で実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 国内 A 級ライセンス、カートライセンス、指定されたサーキットライセンスの取得試験に合格すること。 ② 授業出席率を満たしていること。ただし、理由により学校の判断で認定することもあります。 ③ 教科に未履修が無い事。 <p>サーキットを安全に走行できる技術と車両整備知識を確認する「卒業認定試験」に合格すること。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>本人との面談、保護者への連絡、場合によっては家庭訪問等で面談を行い、改善指導を行う。</p> <p>また、学生の動向に関する情報は共有し、注視している。定期的に診療心理士のカウンセリングを実施。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5 人 (100%)	0 人 (0%)	5 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 日産販売会社を中心とした自動車業界			
(就職指導内容) 就職観情勢授業・面接練習・卒業生とのディスカッションほか			
(主な学修成果 (資格・検定等)) ・国内 A 級ライセンス、カートライセンス、指定されたサーキットライセンスの取得。 ・タイヤ充填取扱い資格 (特別教育:自動車整備科卒業生)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5 人	0 人	0 %

(中途退学の主な理由)
(中退防止・中退者支援のための取組) ・定期的な個別面談の実施

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
自動車整備科	240,000 円	642,000 円	350,000 円	・ 実験実習費・施設設備費
一級自動車工学科				
モーター スポーツ 科	120,000 円	642,000 円	570,000 円	・ 実験実習費
修学支援 (任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特待生奨学金: 入学後給付 25 万円・遠隔地奨学金: 入学後給付 25 万円 ・ 留学生特別奨学金: 入学後給付 25 万円 ・ 企業推薦奨学金: 入学後給付 25 万円 				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nissan-gakuen.ac.jp/yokohama/infomation.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校評価の目的は、学校運営・教育活動の改善であり、学校関係者評価は、自己評価結果の客観性・透明性を確保することを目標としている。本校の専攻分野に通じた関係者(業界団体代表、業界企業代表、卒業生)からの提言、助言は、学内に周知徹底すると同時に、内容を十分分析し、対策案、取り組みの時期の検討につなげていく。対策結果を、次年度の評価で学校関係者の評価をいただくサイクルを継続して回していく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人 役員	2022. 4. 1～ 2023. 3. 31	業界団体代表(整備振興会)
一般社団法人 職制	2022. 4. 1～ 2023. 3. 31	業界団体代表(整備振興会)
株式会社 職制	2022. 4. 1～ 2023. 3. 31	業界企業代表(自動車販売会社)
株式会社 職制	2022. 4. 1～ 2023. 3. 31	業界企業代表(自動車販売会社)卒業生
学校法人 職制	2022. 4. 1～ 2023. 3. 31	学校法人 日産学園代表
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nissan-gakuen.ac.jp/yokohama/infomation.html		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<https://www.nissan-gakuen.ac.jp/yokohama/>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	専門学校 日産横浜自動車大学校
設置者名	日産自動車株式会社

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		32人	32人	34人
内 訳	第Ⅰ区分	16人	14人	
	第Ⅱ区分	13人	13人	
	第Ⅲ区分	-人	-人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				34人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人
(備考)					

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	一人
3月以上の停学	0人
年間計	一人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	—人	—人	—人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	—人	—人	—人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。